



←協会ロゴ兼エンブレム

16年7月制定。協会・加藤隆久運管理事の力作。「ボール・ラケット・汗」がモチーフ。中央にボール、紡錘形はラケットと汗。「ボールを追って流そう爽やかな汗」を訴える。「1973」は協会創立年。半世紀近い歴史。



時の顔
パシフィック水泳メダル4個の池江瑠花子はアジア大会で金6・銀2の快挙。大会 MVP。172センチ。東京の18歳スパー高校生。

池江アジア6冠

和崎が初優勝

ai場所

市選手権

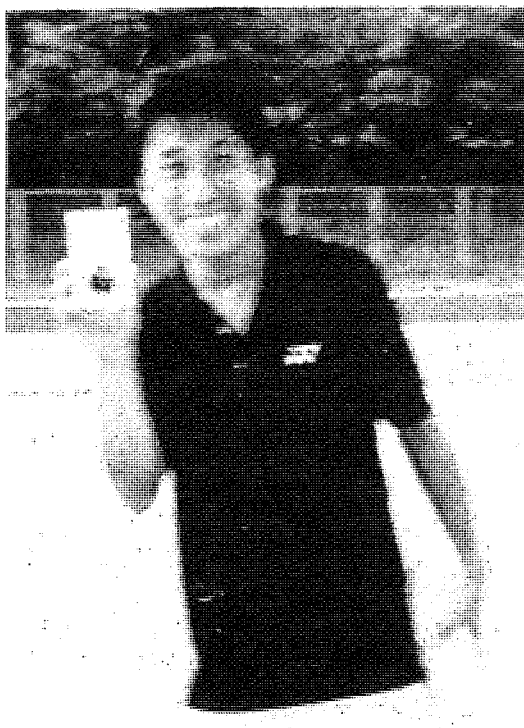
瀬戸市選手権は9月2日(日)、市民公園で開催。男子は昨年準Vの和崎省伍(aiのある場所)が下林直人(楽しいが一番)を下して初優勝。女子は浦野優子(JUEGO)が飛山るみ子(ストロベリー・フィールズ)に快勝して5連覇。

全米

錦織、大坂 8強入り

(詳報6面に)

浦野優子(JUEGO)——飛山に快勝し、5連覇を達成



和崎省伍(aiのある場所)——下林を振り切って初優勝

女子 浦野快挙5連覇

下林を下す

飛山に快勝

女子は少な目の14人。前年Vの浦野が第1シード、同3位・飛山が第2シード。準決勝は、浦野―沖胡と飛山―中川。同僚・沖胡の強ストロークに巧さで対抗6―3で下した浦野と、左腕・中川(12年覇者)に快勝した飛山の決勝。怪しい空模様、時に雷雨。雷嫌いの飛山が攻め急いだか、浦野の堅守を崩せず、5連覇阻止はならなかった。

男子は満杯の64人参加。前年優勝の黒岩が第1シード、同準Vの和崎が第2シード。以下、第3から第8まで下林、八百山、手島、岩成、加藤隆、高木順の順。
「4決め」は黒岩―富士、下林―加藤、岩成―八百山、佐藤―和崎の好カード。「瀬戸4冠」のかかる八百山はタイブレークで岩成に敗退。準決勝は黒岩―下林、岩成―和崎となり、下林が巧みな配球と粘り強いプレーで黒岩のV2を阻んで6―3の快勝。和崎は、足ケイレンを抱えながら粘る岩成を下して決勝進出。
27歳・和崎と59歳・下林の決勝。ストローク戦を有利に進めた和崎がリード。下林は挽回を図ってネットに出るが、和崎のカバー力とロブにかわされ2―6で屈した。

市選手権 成績	
<男子>	
優勝	和崎省伍(aiのある場所)
準優勝	下林直人(楽しいが一番)
第3位	岩成洋平(ロングロング)
	黒岩竜二(aiのある場所)
<女子>	
優勝	浦野優子(JUEGO)
準優勝	飛山るみ子(S・フィールズ)
第3位	沖胡美紀(JUEGO)
	中川美恵(フリー)

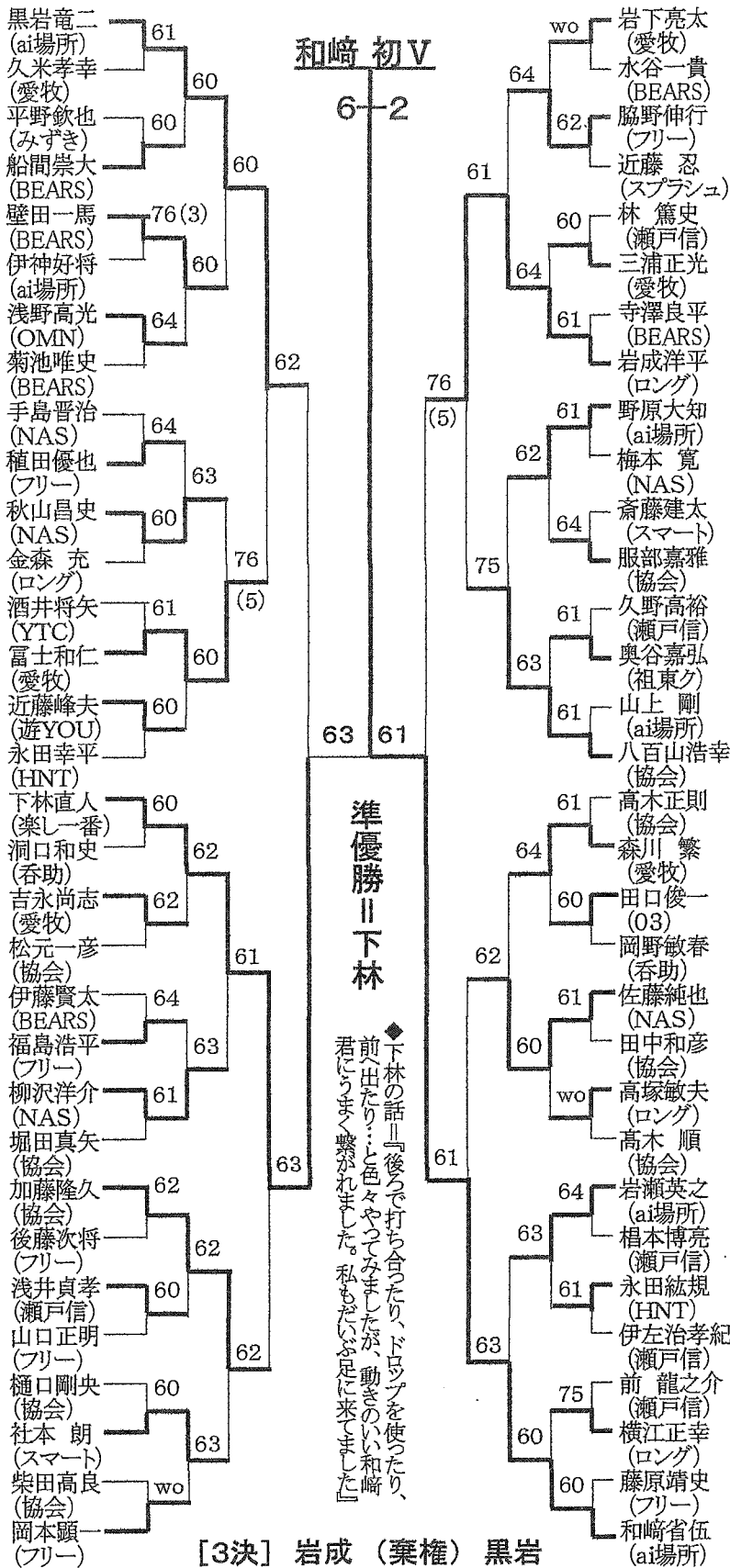
3は沖胡が制す

男子3位決定戦の黒岩―岩成は、黒岩が棄権。女子3決、沖胡―中川は、沖胡が6―3で制した。

決 黒岩棄権、女子

◆和崎の話「黒岩さんに昨年の雪辱を果たしたかった。決勝は最後のゲームを取らなければ足がもたずにかけていた。苦しい優勝でしたが、うれしいです」

<第29回 瀬戸市選手権 男子戦績>



男子4強

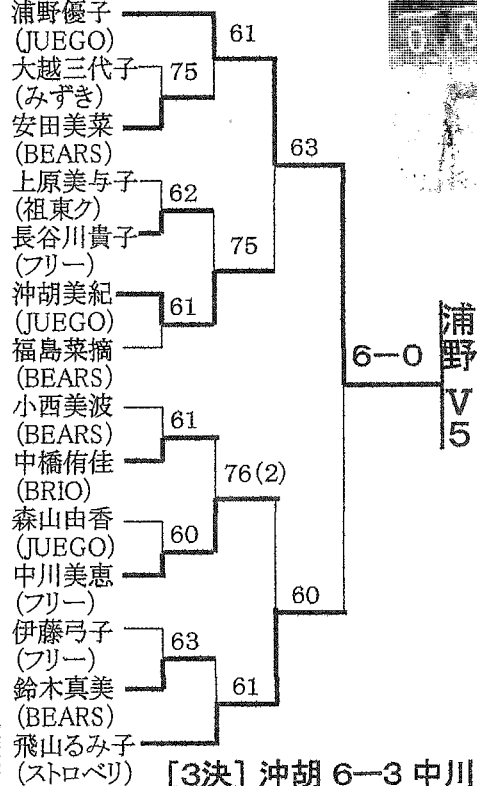
左から3位・黒岩、優勝・和崎、準優勝・下林、3位・岩成



女子4強

左から3位・中川、準優勝・飛山、優勝・浦野、3位・沖胡

<女子戦績>



買いましたよ得点板
スコアボード6個を購入。この日、Aコートで初使用。
ポスト一体型。Bコート用にあと4個追加購入予定。
若番II赤印。エンド交代時に掲示変更を願います。

市選手権の覇者	回	年	男子	女子
	7	1996	浜辺正雄	
	8	1997	浜辺正雄	
	9	1998	浜辺正雄	
	10	1999	菅野英男	
	11	2000	菅野英男	
	12	2001	日比野有高	松元扶三子
	13	2002	加藤智之	高木淳子
	14	2003	Mアントニオ	江口ひとみ
	15	2004	富士和仁	吉村鮎美
	16	2005	日比野有高	高木淳子
	17	2006	太田真宏	高木淳子
	18	2007	富士和仁	
	19	2008	富士和仁	
	20	2009	渡辺孝治	
	21	2010	久米孝幸	
	22	2011	岩下亮太	
	23	2012	岩成洋平	
	24	2013	川西健太	
	25	2014	高木亘紀	
	26	2015	高木亘紀	
	27	2016	加藤輝	
	28	2017	黒岩竜二	
	29	2018	和崎省伍	
			大島千沙子	大島千沙子
			河村侑佳子	河村侑佳子
			藤奈穂子	藤奈穂子
			伊中川美恵子	伊中川美恵子
			中山桂子	中山桂子
			竹浦野優子	竹浦野優子
			浦野優子	浦野優子
			浦野優子	浦野優子
			浦野優子	浦野優子
			浦野優子	浦野優子

行事予定

★第13回 100歳ダブルス大会

9月8日(土)、市民公園A・Bで午前9時～午後5時(午前7時からコート使用可)。出場資格は瀬戸市内在住または在勤者、または協会員。女子ペアは合計80歳、混合ペアは90歳、男子ペアは100歳(年齢は今年末現在)以上のダブルス統合戦。1次リーグ戦のあと順位別トーナメントを予定。リーグ戦で勝敗同数で並んだ場合、特別ルール「高齢上位」を適用し順位を決定。参加費=1組2,000円(協会員無料)。予備日=9月22日(土)。

★第12回 レディースチャレンジ大会

10月3日(水)、市民公園Aで午前9時から午後1時ごろまで。女子ダブルス。従来の「レディース・ビギナー大会」の門戸を拡大。中級レベルまでの出場を募る。改称後2回目。昨年は10ペアが抽選で2グループ別に予選リーグの後、4強による決勝トーナメント。レディース教室受講者には絶好の腕試しの場。参加費=1組2,000円(協会員無料)。受付=9月3日～19日。予備日=10月10日(水)。9月1日付け広報掲載。

★秋季大会

10月7日(日)、市民公園A・Bで午前8時30分～午後5時(午前7時から使用可)。開始=男子8時半、女子・壮年=9時半。市内在住・在勤または協会員。男子1部・2部・壮年(50歳以上)。女子1部・2部・壮年の複。先着計120組募集。参加費=1組2,000円(協会員無料)。学生は不可。受付=9月3日～19日。予備日=10月14日(日)。9月1日付け広報掲載。

★第8回 高校学年別大会

10月27日(土)・11月3日(土)、市民公園A・Bで午前7時～午後5時。瀬戸近郊高校生。男女別・1、2年生別の単・複。参加費=1人800円。学校関係者に案内。予備日=11月10日(土)。

★壮年・レディース大会

11月25日(日)、市民公園A・Bで午前9時～午後5時(午前7時から使用可)。市内在住・在勤者または協会員。男子45歳以上、女子40歳以上の男女別ダブルス。各先着32組募集。参加費=1組2,000円(協会員は無料)。受付=10月15日～11月7日。予備日=12月16日(日)。10月15日付け広報掲載。

会費納入口座

会費納入は「瀬戸信用金庫」が「ゆうちょ銀行」の口座へ。
 ≪瀬戸信用金庫≫
 店名 共栄支店 店番008
 普通預金 口座番号
 0269862 瀬戸市硬式テニス協会
 ≪ゆうちょ銀行≫
 店名 二〇八 店番 208
 普通預金 口座番号
 1411190 瀬戸市テニス協会

クイズ3Q

Q1. 瀬戸市選手権、今年の男女の覇者は?
 Q2. 旭対抗戦、今年含め最近10年は瀬戸何勝何敗?
 Q3. 全英、錦織初回の準々決勝進出が、ジュコに何連敗?

10月までの練習会

(市民公園Aでナイター)

9月 5日(水)	19時～21時	3個面
12日(水)	19時～21時	3個面
15日(土)	17時～21時	3個面
19日(水)	19時～21時	3個面
10月3日(水)	19時～21時	3個面
10日(水)	19時～21時	3個面
13日(土)	17時～21時	3個面
20日(土)	17時～21時	3個面

(最終回)

<当番理事 ◎=主責任者>

9月=◎高木正則、八百山浩幸、加茂冷子
 10月=◎近藤峰夫、長江茂幸、柴山千沙子

10月8日 審判講習会

10月8日(祝・体育の日)午前9時～午後1時。南が丘コートで。正しいセルフジャッジ、ゲームでのトラブル対処法、今季ルール改正点などを学ぶ。のち自由練習。

真夏の土曜4回 ばつちり腕磨いたよ ナイター教室、25人修了

日中の暑さを避けたナイターテニス教室は8月4日から土曜4回、各午後6時から9時まで市民公園Aで開催。受講者は小学生5人を含め25人。小学生、初級、中級女子、中級男子の4クラス。

グリップ、スタンスから基本のストローク、ボレー、スマッシュ、サーブ、ロブを学び、基本技のスムーズな一連化の練習。次段階はダブルス陣形での攻防やコンビネーションに取り組んだ。中級では各自の苦手克服やドライブボレー、バックハイクの処理など難しい技にも挑戦。ルール&マナー、セルフジャッジ、カウン



25人が熱心に腕を磨いたナイター教室

トコール、ゲームでのトラブルと措置などは実戦ダブルス練習の中で学んだ。最終日後半はダブルスゲームを行って練習の成果を試し、随所に好シットを見せていた。瀬戸の大会で活躍している受講者もいたが、各自、この教室での教訓を今後の試合に生かしてほしい。

名電 8強ならず

愛産大三河 初戦で横浜に完敗

100回記念の甲子園。全56校で愛知から2校。22年ぶり2度目出場。愛産大三河(東愛知)は1回戦で強豪・横浜に序盤で5失点。3発を浴びて7-10の完封負け。ベンチ入り2年生が6人。敗れた3年生はスタンドの下級生も含め、負ける悔しさがよくわかったはずと、甲子園初勝利を後輩に託した。名電(西愛知)は「超攻撃野球」を掲げ5年ぶり12回目の出場。「日本一」の下の克上での話題の白山(三重)と隣県対決の初戦2回戦。初回3点、5回4点、15安打・10-10の完封。30年ぶり夏勝利で16強。

初陣・白山は完敗したが、東監督は「懸命に戦ってくれた。ずっと負けてきたので今日の負けからまた再出発」と談話。名電は3回戦で報徳(東兵庫)に2-1で敗退。大阪桐蔭が金足農産(秋田)の好投手・吉田を打ち崩し13-2で4年ぶり5度目V。2度目の春夏連覇。

2か月遅れで終了

W杯 8強夢淡

サッカー 日本健闘



サッカーW杯。予選ポーランド戦は「世紀の愚策」か最善の賭けか評価二分。結果は他方本願成就。61位・日本が決勝トーナメント進出。8強をかけた3位「赤い悪魔」ベルギー戦は2-1で残り25分。リードを保てず終了寸前に逆転され、2-3。戦前の低評価に発奮し「初の8強」の夢を見させてくれた。

短期でチームをまとめ上げた西野監督(写真真)は退任。8年間主将を務めた長谷部(左)は「99%の満足」。1%の後悔と代表引退。片や「東京五輪出たい!」と長友、本田。

ベルギー戦「天国から地獄」 仏・優勝 日本次期監督は森保(もりやす) 本田はカンボジア監督に

19勝10敗 瀬戸雪辱

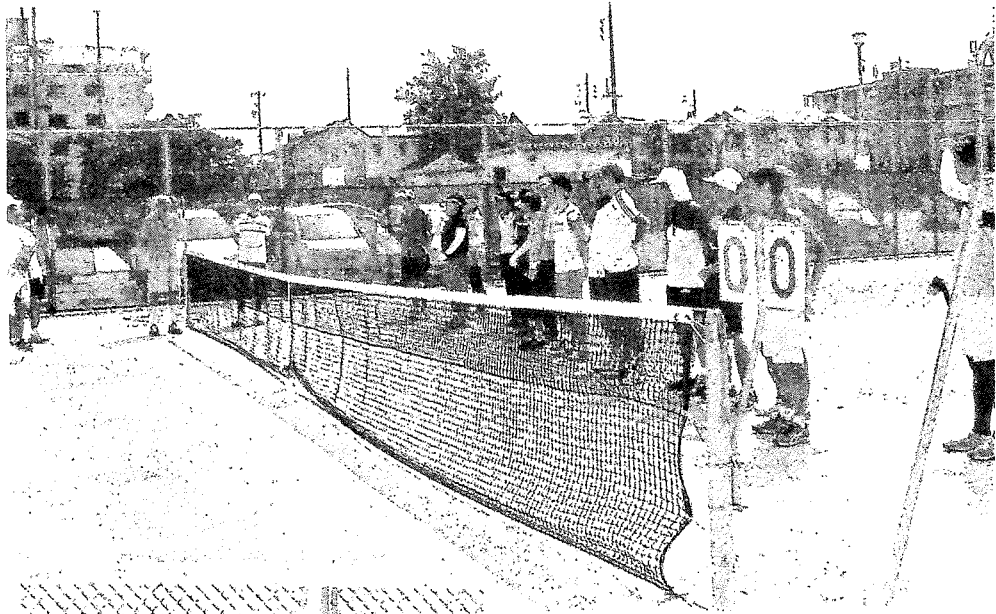
旭對抗戦 着々貯金 悠々逃げ切り

瀬戸協会―旭連盟対抗団体戦は8月5日(日)、オムニ化になった旭の晴丘コートで真夏の熱闘。瀬戸は男子20人、女子9人が参加。男子複、女子複、混合複に計29戦。6ゲーム先取・ノーアド。昨年大敗(6勝14敗)の雪辱を誓う瀬戸は開幕5戦から着々と「貯金」。最終戦も辛勝し、通算19勝10敗で快勝した。

瀬戸男子20・女子9人

午前9時、旭・晴丘コート集合。瀬戸チームは男女計29人。うち重複所属の男子数人は旭軍へ。両チーム挨拶、記念撮影

試合開始前
あいさつする
瀬戸(左)・旭(右)
の両チーム



両会長 闘志の開会挨拶

連勝だ！ 倍返しだ！

◆旭・庄原会長＝『昨秋ようやく晴丘オムニ化で今回久々の旭開催。旭は井田コート廃止で市営コートが19面から12面に減少。今後、コート新設が最大の課題。ここ晴丘での日曜の市民向け球出し奉仕は好評。今回は連勝を狙いますよ！』
◆瀬戸・稲垣会長＝『ご招待頂き感謝。今年から会長を務めます。晴丘オムニ化をお祝いします。昨年大敗。今回は倍返しで雪辱をめざします！』

の後、10時前、昨年10月にオムニ化された新装コート5面で試合開始。炎天下、選手は健康に配慮し、大会終了を午後1時、計30試合をメドとした。
雪辱を期す瀬戸はかなりの強力陣容。開幕5戦男子複・女子複・混合複を苦しみながら4勝1敗「貯金3」の好スタート。その後も地力を発揮、互角以上の順調な戦いを続け「貯金」を増やした。正午前には11勝4敗「貯金7」とし、ほぼ勝利を

梅ちゃん絶妙の幕引き
終了予定の午後1時を過ぎ、瀬戸の大勝が決まって迎えた最終戦は恒例の会長ペア対決。瀬戸は稲垣・梅村組。旭は庄原・山本組。
瀬戸は試合中の八百山副会長に代わって、旭軍にレンタルしていた梅村が戻り、見事な演出。山本のクセ球を攻略して5―3と追い込んだあと、5―5のファイナルにまで持ち込む付度で会場を沸かせた。最終リターンゲーム、5度目のマッチポイントを握り、自らボールをストレートに決めてプ

30日 Match

1	旭	瀬戸	1	旭	瀬戸
2	旭	瀬戸	2	旭	瀬戸
3	旭	瀬戸	3	旭	瀬戸
4	旭	瀬戸	4	旭	瀬戸
5	旭	瀬戸	5	旭	瀬戸
6	旭	瀬戸	6	旭	瀬戸
7	旭	瀬戸	7	旭	瀬戸
8	旭	瀬戸	8	旭	瀬戸
9	旭	瀬戸	9	旭	瀬戸
10	旭	瀬戸	10	旭	瀬戸
11	旭	瀬戸	11	旭	瀬戸
12	旭	瀬戸	12	旭	瀬戸
13	旭	瀬戸	13	旭	瀬戸
14	旭	瀬戸	14	旭	瀬戸
15	旭	瀬戸	15	旭	瀬戸
16	旭	瀬戸	16	旭	瀬戸
17	旭	瀬戸	17	旭	瀬戸
18	旭	瀬戸	18	旭	瀬戸
19	旭	瀬戸	19	旭	瀬戸
20	旭	瀬戸	20	旭	瀬戸

真夏の29試合―瀬戸対旭の熱闘を物語る戦績ボード。瀬戸が19勝10敗で雪辱

来夏、瀬戸会場で待ってます
◆稲垣会長・閉会の辞＝『猛暑の中、両チーム選手お疲れさま。しっかり雪辱させてもらいました。次回は瀬戸会場。来年もまた暑い8月開催になるでしょうが、おいで下さい。待ちしています』

40年超す伝統の一戦

瀬戸協会―旭連盟対抗戦。第1回は1974年。旭の戦。以降、中断時期もあったが、半世紀近い伝統の一戦。旭・晴丘オムニ化で交互会場開催に戻る。勝敗とともに親睦・交流を目的とする団体戦。

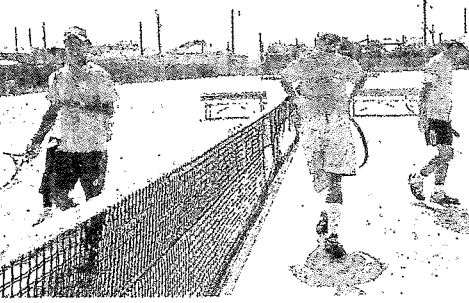
2000年	△	旭	21勝21敗
2001年	○	瀬戸	23勝20敗
2002年	○	瀬戸	23勝19敗
2003年	○	瀬戸	23勝19敗
2004年	○	瀬戸	25勝14敗
2005年	●	瀬戸	7勝9敗
2006年	●	瀬戸	14勝22敗
2007年	○	瀬戸	24勝15敗
2008年	○	瀬戸	21勝18敗
2009年	○	瀬戸	26勝21敗
2010年	○	瀬戸	28勝22敗
2011年	○	瀬戸	26勝23敗
2012年	○	瀬戸	26勝24敗
2013年	○	瀬戸	19勝16敗
2014年	●	瀬戸	11勝15敗
2015年	○	瀬戸	26勝20敗
2016年	○	瀬戸	20勝13敗
2017年	●	瀬戸	6勝14敗
2018年	○	瀬戸	19勝10敗

[瀬戸軍]

- (五十音順)
 均 信樹明夫幸夫紀 則彦郎雅央 浩幸
 和 将裕秀孝峰直順 正和太嘉剛繁 山所和正敏滋
 男 川村垣井西米藤木木中本部口川百復村藤浦羽
 石 磯稻岩川久近高木高田橋服樋森八(重梅佐杉丹)

- 子 穂子子子子子子子子
 奈 陽優冷育沙淳明伸
 女 藤垣野茂西米木本田
 伊 稻浦加川久高橋吉

特技「食後一気」要らず
瀬戸の得意技「食後の一気スパート」もこの日は不必要。あとは未勝利メンバーに初白星が期待されたが、0勝3敗のポイント・テグスターも出たもよう。
余裕の瀬戸は森川・浦野の混複。ペアが旭の有力男子ペアを6―5で振り切るなどさらに「貯金」を重ね、18勝10敗。大きくリードして最終戦に臨んだ。



最終の会長ペア戦を接戦6―5で沸かせた瀬戸の稲垣・梅村組(左)と旭の庄原・山本組(右)

瀬戸地方 高校新人戦

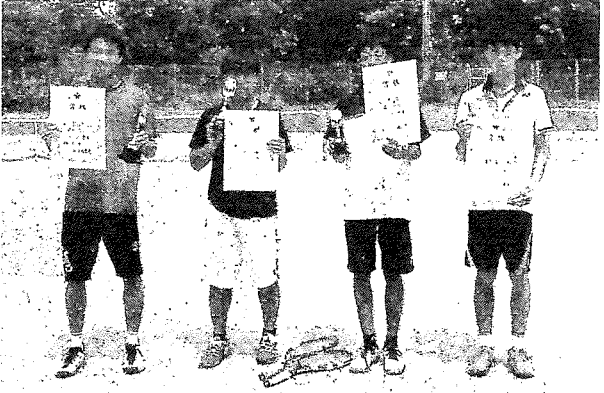
第28回瀬戸近郊高校新人戦。男子は7月27(金)・28日(土)、女子は27日・30日(月)の延べ3日、市民公園で開催。男女単複に1・2年生計203人が参加。男子単は村上真太郎(瀬戸西2年)が同僚の野村啓太を下して優勝。男子複は森亘平・藤澤和牙(瀬戸西2年)組がV。女子単は齋藤鞠奈(旭野2年)が牧田真夕(瀬戸2年)に競り勝って優勝。同複は木内楓乃・江原里紗組(聖霊1年)が栄徳2年生ペアに快勝してV。

＜高校新人戦 成績＞

<p>＜男子単 参加54人＞ 優勝＝村上 真太郎(瀬戸西2年) 準優勝＝野村 啓太(瀬戸西2年) 第3位＝加藤 諒(瀬戸西1年) 鈴木尚也(旭野2年)</p>	<p>＜女子単 参加27人＞ 優勝＝齋藤 鞠奈(旭野2年) 準優勝＝牧田 真夕(瀬戸2年) 第3位＝西野碧莉(聖霊2年) 日野晴菜(聖霊2年)</p>
<p>＜男子複 参加32組＞ 優勝＝森 亘平・藤澤和牙(瀬戸西2年) 準優勝＝渡邊圭佑・松浦彪介(長久手2年) 第3位＝波多野紘洋・小栗爽志(瀬戸西2年) 土井慎太郎・前田旭達(長久手1年)</p>	<p>＜女子複 参加29組＞ 優勝＝木内楓乃・江原里紗(聖霊1年) 準優勝＝五味花蓮・菊地絵莉香(栄徳2年) 第3位＝小川内園実・加藤帆夏(旭野1年) 加藤真奈・大関紗子(長久手2年)</p>

単男子・村上・村上

瀬戸西

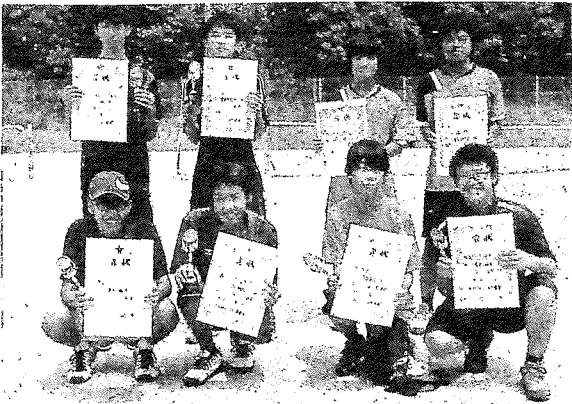


男子単、瀬戸西勢活躍。左から優勝の村上、準Vの野村、3位の加藤、鈴木



女子単4強。左から優勝した齋藤、準優勝の牧田、3位の西野、日野

男子複は森・藤澤 (瀬戸西)



男子複の森藤澤(前左)、渡邊松浦(前右)。後列は波多野、小栗(中)と土井・前田(中)

女子・齋藤

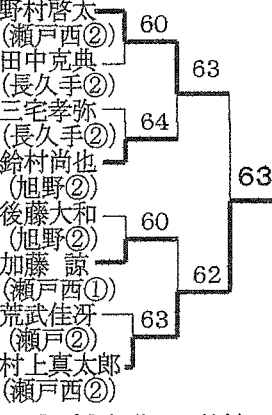
旭野 V

女子複 木内・江原組 (聖霊1年)



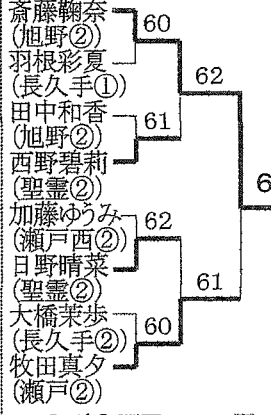
木内・江原(前左)、五味・菊地(前右)、小川内・加藤(後左)と加藤大関(後右)

【男子単 準々決勝以降】



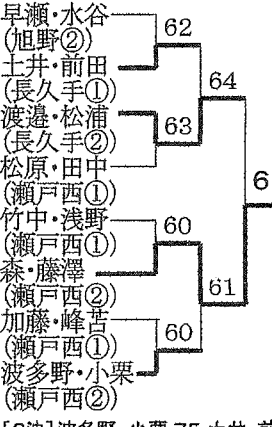
[3決] 加藤 64 鈴木

【女子単 準々決勝以降】



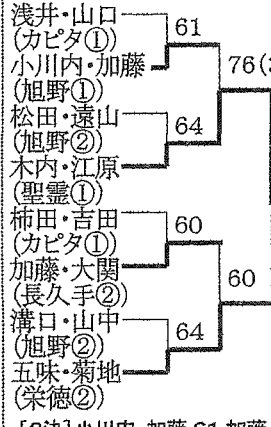
[3決] 西野 63 日野

【男子複 準々決勝以降】



[3決] 波多野・小栗 75 土井・前田

【女子複 準々決勝以降】



[3決] 小川内・加藤 61 加藤・大関

阿部 女子単 優勝

「高校総体 愛知メンバー」男子監督 宮尾英俊(名古屋)▽選手 高羽蓮、石橋元晴、林航平、鈴木悠太、宮本真太郎(名古屋)、池田朋弥(巻)、影山太星、伊藤肇、山田知宙(名経大市郎)

女子監督 仲居勝己(愛知)▽選手 浅野汐香、阿部宏美、鈴木芽衣、日野有貴子、安井愛乃、川出莉子(愛知啓成) 青木乙葉(巻)

高校総体 団体戦 名古屋、啓成4強

高校総体(四日市)女子単で阿部が優勝。男子単、池田は4強。団体戦(複1単2)は男子、名古屋、女子、愛知啓成ともに惜しくも決勝進出ならず。

池田、決勝進出を逃す

男子単は池田(2年)が準決勝で丸山(相生学院)と3時間超の激闘、7-16、3-16、4-16で逆転負けし、決勝進出を逃した。高羽は4回戦、影山は3回戦、石橋は1回戦敗退。白石光二(葉・秀明八千代)が優勝。団体、複と計3冠。

男子複は伊藤・山田組が3回戦で早実ペアに敗退。高羽・石橋組は1回戦で敗れた。

乙葉初戦8-9で惜敗

女子単決勝、阿部は押川(福井・仁愛女)に2-1、6-1、3-7、1-5の逆転勝ち。3年目で高校日本1に輝いた。

鈴木、安井はともに2回戦敗退。瀬戸・やまて坂の青木乙葉は1回戦、8-9で惜敗。

女子複は阿部・安井組が3回戦で、日野・川出組は2回戦で敗れた。《8面に関連記事》

全米 錦織復調8強

全米



復調の錦織、続くか快進撃

4回戦 34位に快勝

全米(9月9日まで)男子単、第21シード・錦織は4回戦で34位、ニールニライバー(独)に6-3、6-2、7-5のストレート勝ち、8強入りを果たした。

1回戦、マルテラー(独)に快勝。2回戦はモンフィニス(仏)が第2セットで途中棄権。3回戦は難敵・第13シードのシネオツマン(アルゼンチン)を6-1、4、6-1、5-7、6-1で撃破。ストロークの精度を取り戻し、調子上げていた。

西岡は初戦でラデラー(スイス)に、杉田はガスケ(仏)に、ダニエルはデミノール(豪)に0-3の完敗。

大坂、勝って涙

女子単第20シードの大坂は1回戦シグムント(独)、2回戦・グルシニコ(スロヴェニア)に快勝。3回戦で33位・サスノビッチ(ペラルーシ)に6-0、6-0の完勝で初の16強入り。4回戦で第26シード・サブレカ(ペラルーシ)を6-3、2-1、6-1で競り勝ち、準々決勝に進出を決めた。直後、感極まった大坂はベンチで涙を流した。 奈良は初戦で第15シードのメルテニス(ベルギー)に2-1、6-7、7-6、5-7の惜敗。第1シード・ハレプ(ルーマニア)が1回戦敗退の波乱。

錦織、大坂初戦負け

ロシア杯(カナダ・8月)で22位。錦織は1回戦で長身ハイゼ(オランダ)に5-7、1-6で敗退。

女子18位の大坂も1回戦負け。

男子決勝はナダル対ツチパスギリシヤ(27位)。この日20歳誕生日。トップ10の4人を連破して進出。ナダルが6-1、7-6で制し、5年ぶり4度目V。今季5勝・通算80勝目。ツチパスは15位にアップ。

「W&S」錦織2回戦敗退

ロジャール下しノバク初V

ウエスタン&サザン(米・8月)で錦織は初戦で37位・ルブレフ(20歳・ロシア)を下したが、2回戦でパブリンカ(膝故障明け・151位・スイス)に4-6、4-6で敗退。女子19位の大坂は1回戦で31位・サカリギリシヤに3-1、6-1で敗退。

男子決勝はラデラー対シヨビッチ。過去シヨビッチの23勝22敗。復活。シヨビッチが6-4、6-1で快勝。初V。初のマスターズ全9大会制覇(ゴールデンマスターズ)達成。

全英余話

単優勝者プロフィール

ノバク・シヨビッチ

セルビア・31歳。08年・全豪で4大会初制覇。11年・全豪・全英、全米を制して7月に世界1位に。16年・全仏で初優勝し史上8人目の4大会全制覇。昨年は右肘故障で全英棄権、全米欠場。今年全豪で復帰したが4回戦敗退。手術を受け再起後も不調。全仏8強止まり。やや

失意のまま臨んだ全英で4度目V。

10位に浮上。188cm・77kg。

ド・アンゲリク・ケルバー

ドイツ・30歳。左利き。12年、ツアー初優勝。16年4大会初制覇。全豪に続き全米制覇。リオ五輪の全豪に続き全米制覇。9月に世界1位に。17年は4大会4回戦が最高と低迷。改造に努め攻撃力強化。今季全豪4強、全仏8強と復調。憧れはS・グラフ。173cm・68kg。5位にアップ。

シティOP 錦織8強

ズベレフに逆転負け

シティ・オープン(米・8月5日まで)第7シード・錦織は2回戦でヤング(米)、3回戦で第9シード・シャポバロフ(19歳・カナダ)を下し

8強。準々決勝で第1シード・ズベレフ(独)に6-3、1-6、4-6の逆転負け。杉田は初戦でミロ(仏)に完敗。綿貫陽介はゴドベージェフ(ロシア)に逆転負け。ズベレフが2連覇。女子第3シード・大坂は1回戦で

《日本選手 成績》

- 男子単 3回戦敗退
- 綿貫 67、46 プブリカ(カザフ)
- 内山 36、67 呉(中国)
- 男子複 準決勝敗退
- 銅 島袋・上杉 64、36、8・10
- 銅 綿貫・伊藤 46、76、7・10
- 女子単 3回戦敗退
- 穂積 16、26 ライナ(インド)
- 加藤 16、06 ストジアディ
- 女子複 準々決勝敗退
- 内島・林 64、57、5・10
- 銅 混合複
- 銅 上杉・林 67、46

「女子」

穂積 穂本総業
二宮 真琴 橋本総業
加藤 未唯 アイマックス
内島 萌夏 昭和の森 J・T・S
林 恵里奈 福井県スポ協

「男子」

内山 靖崇 北日本物産
綿貫 陽介 日清食品
島袋 将(早稲田大)
上杉 海斗(江崎グリコ)
伊藤 雄哉(米テキサス大)

アジア大会

日本銅4た

単不振 男女8強入れず

アジア大会(ジャカルタ・8月)で日本は初の銅メダル4個に終わった。3決なし。

銅は、男子複の島袋・上杉組と綿貫・伊藤組、女子複の二宮・加藤組。混合複の上杉・林組は準々決勝で中国ペアに7-6、0-6後のマッチタイブレーを10-8で辛勝し4強入りしたが準決勝でインドペアのルンカット・ストジアディ組に6-7、4-6で競り負けた。

単は男女計4人がそろって3回戦で敗れ、8強入りならず。

島袋組、準決勝で惜敗

早大・島袋は上杉と組んだ男子複2回戦でベトナムのペアにマッチタイブレーにもつれ込み苦戦。準々決勝は中国ペアを下したが、準決勝でインドペアにマッチタイブレーに10で敗れ決勝進出を逃した。4年前・仁川大会では西岡(当時19歳)の単優勝をはじめ、銅6。今回は決勝進出ゼロの寂しい成績だった。

田島組決勝進出ならず

アジア大会(ジャカルタ)で田島組は準決勝で敗れた。田島は全仏複覇者。

日比万葉 本戦入り逃す

単予選に挑んだ日本勢男子は添田豪が2回戦負け。伊藤竜馬、内山靖崇は初戦敗退。女子は日比万葉が3回戦で敗れ本戦入りならず。清水綾乃は2回戦で積給利、加藤未唯、波形純理、今西美晴は1回戦負け。

国枝 単複初戦負け 上地、複5連覇

車いす男子単で4大会全制覇をめざした第1シード・国枝は初戦でフレナンデス・タルセンチンに4-6、6-3、5-7で競り負け。フレナンデスと組んだ複も1回戦敗退。女子単・第2シードの上地は準決勝でファンクート(オランダ)に6-1、4-6、6-7で惜敗。デフロート(オランダ)と組んだ複決勝は6-1、6-1で完勝。上地自身は複5年連続優勝。

◇メキシコ 西岡4強ならず

男子のメキシコオープン(8月)準々決勝で西岡は第2シード・フオニエ(伊)に2-1、6-2、2-1で敗れ準決勝進出ならず。

◇加藤・二宮組、準決勝で敗れる

女子のシリコンバレークラシック(8月・米)で加藤・二宮組は準決勝で詹詠然(台湾)・ベジツケ(チリ)組に1-6、4-6で敗れ決勝進出はならなかった。

◇杉田、連覇の夢 早々散る

男子のアンタルヤ・オープン(6月・トルコ)で、昨年Vの杉田は初戦でシヤアルセンチンを下したが2回戦でエルバール(仏)に6-1、4-6、6-1で惜敗。ダニエル太郎は初戦でガルシア・アロ・スバインに競り負けた。

◇ラデラー、決勝で若手に不覚

全英前、男子のゲリー・ウエバーOP決勝(6月24日)はチヨリッチ(クロアチア・21歳)がラデラーを7-6、3-6、6-1で破り、2勝目。ラデラーは99勝目を逃す。

◇チリッチがシヨビッチを下し18勝目

男子のフリーバトリ選手権(6月・ロンドン)決勝はチリッチがクロアチアがシヨビッチ(セルビア)に5-7、7-6、6-3の逆転勝ちで今季初優勝。通算18勝目。紛らわしいが、チリッチとチヨリッチは別人。

◇ダニエル、準決勝で完敗

ウイニングサークル(米・8月)男子単準決勝でダニエル太郎はメドベージェフ(ロシア)に1-6、1-6で完敗。決勝進出ならず。

中道重利(現・シヨビッチ)の全英初優勝。シヨビッチは史上8人目の4大会全制覇。昨年は右肘故障で全英棄権、全米欠場。今年全豪で復帰したが4回戦敗退。手術を受け再起後も不調。全仏8強止まり。やや

全英 ジョコビッチ3年ぶりV

アンダーソンに快勝し4度目

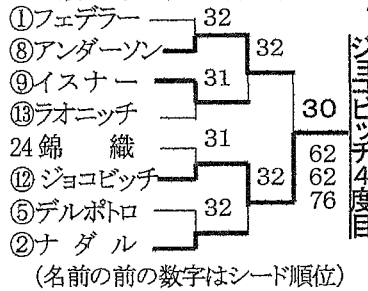
全英(7月15日まで)男子単は復調のジョコビッチ(セルビア)がアンダーソン(南ア)を下し3年ぶり4度目の優勝。フェデラーは4強ならず。初の8強入り。錦織はジョコビッチに敗れた。女子は3回戦で大坂を退けた第1シード・ケルバー(独)が第2シード・セレナ(米)に快勝し初V。男女とも30代がV。



復調のジョコビッチ、3年ぶり優勝

フェデラー 準々で逆転負け
上位のチリッチ、テイム、ゴファン、ディミトロフが2回戦までに敗退。王者・フェデラーは準々決勝でアンダー

男子単 準々決勝以降



ジョコビッチ4度目

アンダーソンに2-1から並ばれ4時間超...最終セット11-13で逆転負け。準決勝2試合はともに2日かかり最終セットの激闘。アンダーソンは計6時間36分でイスナーをファイナル



ジョコ戦、錦織の股抜き...このポイントを取った

錦織、天敵に13連敗 4強ならず

第24シード・錦織が初の準々決勝進出。第12シード・ジョコビッチの堅守を崩せず、1-3で敗れた。1、2回戦を苦戦しながら突破。3回戦、18位・キリオスに3-10の快勝。落ちて着いてやれた。芝で最高の

◆錦織の話=「(ジョコ戦)あそこ(第3S第5G)がチャンスだった。もう少しできていれば...。テニス自体は悪くない。自信をもって来年も来たい」

日本選手の戦績

杉田・ダニエル・西岡 初戦涙

[男子単1回戦]
○錦織 62、46、76、62 ハリソン(米)
×杉田 62、67、26、26 クラン(米)
×ダニエル 63、36、36、36

フォニーニ(伊) ×西岡 16、46、46 チリッチ

[同2回戦]
○錦織 26、63、76、75 トミンク(豪)

[同3回戦]
○錦織 61、76、64 キリオス(豪)

[同4回戦]
○錦織 46、76、76、61 グルビス

[同準々決勝]
●錦織 36、63、26、26 ジョコビッチ

勉・シュトルフ組 4強逃す

[男子複]
西岡・ダニエル組、内山・ベゲマン(独)組は1回戦敗退。マクラクラン・勉・シュトルフ(独)が徳蘭、準々決勝で惜敗。

[女子単1回戦]
○大坂 64、61 ニクレスク

×奈良 26、46 ハレブ(ルーマニア)

[同2回戦]
○大坂 63、64 ボルター(英)

[同3回戦]
×大坂 26、46 ケルバー(独)

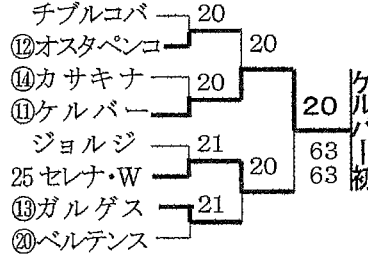
[女子複]
穂積・加藤組、二宮・カラシニコワ(ジョーシア)組は初戦敗退。青山・プレイディ(米)組は2回戦負け。

[混合複]
青山・ニス(仏)組、二宮・モルテニ(アルゼンチン)組は初戦敗退。マクラクラン・勉・穂積組は準々決勝敗退。



セレナに快勝、初優勝したケルバー

女子単 準々決勝以降



女子は大荒れ。ハレブ、ウオズニエツキ、ムクルサ、ステイブンスら上位シードが早々に敗退。8強で最上位は第11のケルバー(30歳)。復帰4大会目の18位・セレナ(36歳)が実績で予選免除。第2シード付与の批判を一掃して進撃。ケルバーとは過去6勝2敗。16年の再戦の決

ケルバーが波乱制す

元女王対決・セレナに雪辱、初優勝

26-24で辛勝。ジョコビッチは5時間15分。宿敵・ナダルを10-8で振り切つて決勝進出。過去ジョコビッチ5勝1敗の対決は右肘手術後、復調したジョコビッチが疲れの見えるアンダーソンに第1、第2セットとも2ブレーク。第3セットのタイブレークも取つて3-10の快勝。3年ぶり4度目のV。4大会13勝目。賞金3億3450万円を獲得。



こんな顔しちゃ勝てない!

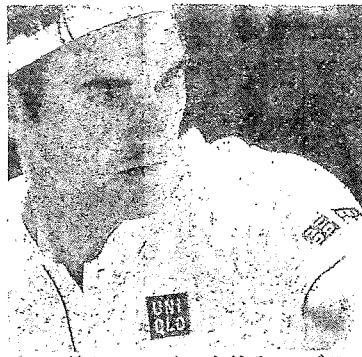
大坂弱気、ケルバーに完敗
第18シード・大坂は61位・ニクレスク(ルーマニア)、1-2位・ボルターを連破。3回戦でケルバーに2-1、4-6。堅守に焦れて先にミスつた。直近の対戦では快勝した元女王に3回戦では終わらたくな...と再び力勝負を挑んだが、1stサーブの確率・威力、ショットの精度、挽回の気力いずれをも欠いた。両セットとも第1ゲームのサーブを破られ、追う展開。ラリーでは焦りか、決めの前の仕掛けのショットにミスが目立った。ダブルフォルトに落胆してしゃがみ込む場面も。精神的弱さを見せ、持ち味の強打も単発。ミスを引きさずつた暗い表情のまま、最後まで流れをつかめず昨年に続き3-2強

男複II全仏に続きチエコ組
男子複は米のMブライヤン・ソック組がこの大会で初優勝。マクラクラン・勉・シュトルフ組は準々決勝でタイブレークを3つとも失い4強入りを逃した。女子複は、全仏で穂積・二宮組を下して4大会初制覇したチエコのクレイチコバ・シニヤコバ組が連勝。混合複はメリチャヤ(米)・ペア(オーストリア)組がアザレンカ(スロバキア)・マリ(英)を退けて初優勝。

フェデラーはユニクロ

「10年契約・333億円」とか

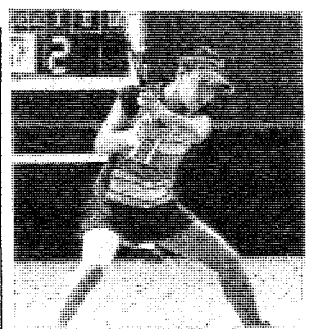
「フェデラーがユニクロ着てる」と西岡もびっくり。全英初戦、200年間着慣れた「ナイキ」ではなく、錦織、国枝と同じ日本のユニクロのウェアで登場し快勝。試合後の会見で「勝利と47歳までの10年・3億3333万3333円の10年契約」と極秘内容も。土のシーズン回避、得意の芝で200戦目、ユニクロ（米を抜く175勝の新記録。準々決勝の大逆転負けも話題になり、PR効果絶大。でも、年間333億払うのは結局、ユニクロ購入者でしょ。値上げはイヤだよ！



年33億円。ユニクロを着るフェデラー

高校女王・阿部宏美

(愛知啓成高・3年)

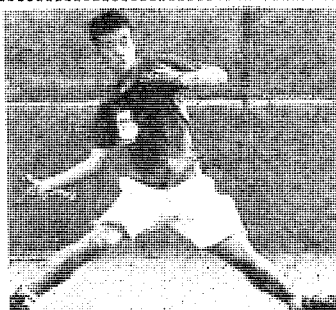


最終セット3-5から7-5の再逆転V。珍しくガッツポーズ。10日走り込んだ。2年目は単3位。この日最終セット「焦らずラリーに徹した。個人戦初日に傷めた右太ももの鎮痛薬を飲んでのV。浮かない顔は「攻めて取った優勝じゃないから」「サーブや攻撃力、課題いっぱい」という。春日井出身のホープだ。

男子4強・池田朋弥

(蒼高・2年)

準々決勝まで快進撃。3時間を超す激闘の準決勝で惜敗。サーブ力強いプレーと粘りで初出場4強。「力んでサーブが入らなかった。弱気になっちゃった」と悔しそう。昨年、プロ登竜門「MUGジニア」で優勝。国体出場。今回は「優勝を狙うよりも1戦1戦集中！」と臨んだ。「次の目標は全日本ジュニア



優勝。練習しかない」と前を向く。プロをめざすと表明。

藤井七段今季タイトルはお預け

藤井聡太七段(16歳・7月19日生まれ)が竜王戦決勝トーナメント2回戦で増田六段に敗れ、羽生竜王の挑戦の夢は絶たれた。両者は昨年10代



最近の主な戦績

年月日	対戦相手	結果
6・22	市川九段	勝
6・25	深浦康宏七段	勝
6・29	増田孝宏七段	敗
7・3	豊川孝宏七段	勝
7・6	斎藤慎太郎七段	勝
7・15	NHK杯 藤原直也七段	勝
7・18	銀河戦 森下卓九段	勝
7・20	順位戦 西八尾明六段	勝
7・31	順位戦 西里見野照誠七段	勝
8・24	棋王戦 菅井竜二七段	勝
8・28	順位戦 菅井竜二七段	勝
8・31	棋王戦 菅井竜二七段	勝
9・3	棋王戦 菅井竜二七段	勝

竜王・王座・棋王戦とも敗退

は準決勝で斎藤七段に敗れた。渡辺棋王に挑む決勝トーナメントは初戦で菅井王位に敗れた。菅井王位は豊島棋聖を相手に防衛へあと1。名人戦への順位戦はC級1組で豊川七段、森下九段を連破。100戦目は西尾六段を下して85勝。中原元名人に並んだ。同組は39人が各100局。上位2人がB級2組昇格。昨年C級2組10戦全勝で1組昇格した藤井君は今季4連勝中で連続昇格をめざす。A級優勝者が名人に挑戦する。道遥か。NHK杯は1回戦敗退。棋聖戦1次予選で女性と初対局。里見香奈女流四冠の中飛車に苦戦の末、逆転勝ち。なお、一宮出身の豊島八段が羽生棋聖を破り、藤井君よりも先に初タイトル獲得。二冠をめざし菅井王位に挑戦中。「8冠に8人分立」の群雄割拠。

順位戦 B級昇格へ4連勝中

加藤剛 反戦の「大岡越前」 本名たけし。俳優。6月18日、胆のう癌で死去。80歳。静岡出身。早大卒業後、俳優養成所入り。人間の条件「砂の器」などで主役。TVの大岡越前が当たり役。「反戦意識が仕事の基本」と語り「俳優座9条の会」呼びかけ人。

笑点の歌丸 闘病81歳で落語家。本名：椎名巖。7月2日、肺炎で死去。81歳。横浜出身。66年「笑点」出演。06年から司会。09年頃から入退院。手術を繰り返して16年5月に「笑点」を降板。

俳優・津川雅彦も心不全妻・朝丘雪路を追うように(8月5日、78歳)。女優名脇役で「婚嫁」の菅井きんも(8月10日、92歳)。

東海中日ジュニア決勝

男子18歳以下単 池田(蒼高)7-5、6-1 高羽(名古屋高)7-5、6-1 高羽(名古屋高)6-1、6-10 高間(影山)名経大市都▽16歳以下男子単三井(アクトSC)6-10、6-11 稲川(アクトEZAWA)▽同復 伊藤(市都)稲川(YONEZAWA)3-6、6-4、10-4 高田(名古屋高)宮地(名古屋中)女子18歳以下単 阿部愛知啓成高7-6、6-3 堤(四日市商)▽同復 吉岡(原田)四日市商)棄権 光崎(阿部)愛知啓成高▽16歳以下単 谷(蒼高)6-14、6-13 畑(浜松西高)▽同復 稲葉(アクトSC)高田(WISHC)6-3、6-12 畑(鈴木(浜松西高))

反基地の沖縄知事逝く

翁長雄志(おながたけし)沖縄知事。8月8日、膵臓癌で死去。67歳。那覇市出身。米軍普天間飛行場の名護市辺野古移設反対運動の象徴的存在。4月に癌が判明し手術。7月末に再入院したが、9月30日に知事選53歳もも「まる子」遺し「さくらももこ」「ちびまる子ちゃん」の作者。8月15日、乳癌で死去。53歳。静岡出身。日常のユーモアを描く。「踊るポロポリ」作詞。本名は非公表。

浅利慶太 劇団「四季」を育て 劇団「四季」創設・元代表の演出家。7月13日、悪性リンパ腫で死去。85歳。「キヤン」ライオンキングなどプロダクション。昭和史三部作で戦争風化に警鐘。長野五輪を演出、愛知万博アドバイザー。

オウム幹部13人の刑執行

95年の「地下鉄サリン」など凶悪犯罪を重ねたオウム真理教幹部死刑囚13人の刑が7月6日と26日執行。90年・衆院選で25人全員落選後、毒ガス小銃などで急速に武装化。麻原は山梨の教団施設の狭い隠れ部屋に940万円を抱えて潜伏。逮捕。判決後は奇行、沈黙。「平成の事件は平成で処理」の政府判断。「優秀な若者たちがなぜ次々殺人？」の疑問解けず、「再発防止できない」と危惧。

究極の奉仕者2歳児救う

山口県の不明2歳児を救助した尾島春夫さん(大分県、78歳)。「自己責任で自己完結の最強ボランティア」。仲間から「師匠」の尊称。朝報に日本中が安堵と賞賛。

おまかせイベント

揺れるアマススポーツ界、今度のは女子体操。日大アメフト、女子レスリング、ボクシングに続き。共通の構図は独裁とイェスマン。1人間違えは全て間違。か? 権力は腐敗する。市選手権、和崎君初V。女子。浦野の5連覇は見事。止めるのは誰じゃ? 私や、富士さんに脱帽じゃ。

オムムの晴丘で旭戦。瀬戸連敗はしません。梅ちゃんナイス演出。来夏連勝といきまっしょい。3敗さん「産廃」で棄てられちゃっやう。ピンチだぞ。

高校新人戦、1年生が健闘。高校総体、乙葉やまて坂は単初戦惜敗。小学3年時、鈴木愛高副会長の愛娘、綾乃さんとのペアを会報86号で紹介。今後も期待。啓成高阿部が女王に。(会報担当 近藤)

STKニュース

瀬戸市テニス協会業務部発行の会報。原則隔月、昭和50年(1975年)創刊。90年からは定期刊行。第10号まで楳田俊幸元理事が制作。2000年、第11号から業務理事 近藤隆夫が編集・発送。部数270。

次号は10月・秋季大会後